

# かたくり

町内会だより

本所1丁目

2021年  
(令和3年)

8月号

2P 総会に代わる書面議決の結果

ランタンまつり開催

本所今昔物語

3P 見附市自治功労表彰(1)

4P 見附市自治功労表彰(2)

新人紹介コーナー



## 総会に代わる書面議決の結果

4月号でお知らせしたとおりコロナの流行により総会に代えて区長さん、班長さんから書面議決を頂きました、その結果は下記のとおりです。

書面議決書提出者数 74名  
 総会定足数 52名  
 よって必要数を満たしています。

令和2年度事業報告・決算 承認  
 令和3年度役員選任 承認  
 令和3年度事業計画・予算 承認

全ての議案が承認可決いたしましたことを報告させていただきます。

## ランタンまつり開催

見附スマイルコミュニティ、本所1丁目町内会、本所親和会、本所子ども会などが参加して5月22日(土)午後6時から本所会館1階、2階を会場に開催されました。当初は朝日野宮神社境内での予定でしたがあいにくの雨により屋内での実施となりました。



午後3時からの作業に参加された皆さんです。ランタンの配置などの総合デザインは既報で紹介した速水美保さんが担当。



午後3時から準備、事前の段取りが良くていつもよりも短時間で完了できました。

## 本所今昔物語 「昔の本所は広がった」

皆さんは昔の本所が現在よりもずっと広がったことをご存じでしたか。

昔の行政区をみると市道十二ノ木線の見附小学校とネーブルみつけ(当時は無し)から北側が本所町でした。また、本所町は1、2、3区に分けられていて、当時の航空写真を見ると大部分が農地で住宅は昔からあった農家住宅などが県道沿いにあるのみです。  
 ※昭和37年航空写真参照

見附市は市街地の住宅開発が進んだことや国の関係法律が施行されたことから住所を分かりやすくするために大規模な「住居表示」事業を行い、昭和42年4月1日には学校町と本所町で実施しました。

実施前の住所は地番と呼ばれていたと推測しますが確実な資料が無いので不明の部分がありますが、区域内には「本町」「内町」などがあるので恐らく、本所町〇〇番地、本町〇〇番地、内町〇〇番地などと表記されていたと思われます。

図(1)、(2)は昭和42年2月24日新潟県報に掲載された見附市の本所町及び学校町の住居表示に係る告示添付図面です。

これにより昭和江から東側が学校町2丁目となり、市・市民生活課からの情報によれば、行政区上では本所町は次のようになったということです。

- 本所町3区 → 本所2丁目
- 本所町2区 → 学校町2丁目1区 へ 6世帯  
→ 学校町2丁目2区 へ 90世帯  
を編入
- 本所町1区 → 本所1丁目

なお、本所1丁目の行政区は順次増やされて現在の6区に拡大し、住所表記も現在のように、本所1丁目〇〇番〇〇号などと、道路を境界としてつくられたブロックごとに街区を設定して分かりやすい表記に変わったのです。

本所会館や朝日野宮神社が本所ではなくて何故学校町にあるのかと不思議に思っている人が多くおられたと思いますが、これでその理由がお分かりと思います。



図(1)住居表示前の本所



図(2)住居表示後(学校町2丁目を新設)



国土地理院ウェブコンテンツより  
1962年(昭和37年)撮影



国土地理院ウェブコンテンツより  
2007年(平成19年)撮影

## 見附市自治功労表彰

令和2年度見附市自治功労表彰者に本所1丁目から五十嵐勝さんと吉岡八重子さんのお二人が選ばれました。お二人の今までの活動についてお話をうかがいました。

公選による非常勤の特別職  
として10年以上在職

本所1丁目2区

いからし まさる  
五十嵐 勝 さん



(質問1)五十嵐さんが市議会議員に立候補しようと決意された理由は何でしょうか。

(答え)見附市が合併せず自律を選択したとき、その方向を定めるために設置した「自律推進会議」の市民公募に応じて、自律に向けたまちづくりや行政のあり方を一年かけて議論したことでまちづくりの大切さを学び、その経験が議員となるきっかけとなりました。

(質問2)今までの議員活動で一番の思い出は何でしょうか。

(答え)私が本会議場で一般質問している最中に東日本大震災が発生、議場が大きく揺れて質問が中断され、翌日、質問を再開した経験が今でも鮮烈な思い出です。

(質問3)今後、議員としての活動方針は何でしょうか。

(答え)戦後生まれの団塊世代の頂点を生き抜いてきました。今、少子高齢化人口減少、SDGsの考え方は見附市のような地方都市であっても世代を超えて考え行動しなければならないと考えます。議員として一市民として共感する皆さまと一緒に考え行動したいと考えます。日本人は特に議員(政治家)はとかくスローガン好きで議論好き、意見は言うのに行動しない人が多いようです。行動する人間でありたいと思います。

プロフィール(五十嵐さんHPより)

- 1949年 見附市(学校町)生まれ
- 2004年 市町村合併に係る自律推進会議委員
- 2010年 見附市議会議員 初当選
- 2014年 総務文教委員長
- 2016年 副議長
- 2018年 産業厚生委員長
- 2020年 副議長

## 見附市自治功勞表彰

令和2年度見附市自治功勞表彰「公選によらない非常勤特別職に10年以上在職」

○多年にわたり保護司として寄与

本所1丁目5区  
よしおか やえこ  
吉岡 八重子 さん



(質問1)「保護司」とはどんな仕事をするのですか。  
(答え)一言でいうことは難しいですが、国から委嘱された仕事で、犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯すことのないようにその立ち直りを助ける等の仕事です。

(質問2)10年以上もこの仕事をされるとご苦勞も多かったと思いますが、どんなことが大変でしたか。

(答え)平成18年から仕事をさせてもらっていますが、今まで10人近くを担当して1件当たり3~5年くらい接して来ました。私は何かしてやろうでなく、本人たちの話をゆっくり聞くことを重点として関わらせていただいているのですが、様々な障がいを抱えた方もおられて対応が難しいことがありました。

(質問3)良かったと思ったことは。

(答え)今まで関わった人が再犯をしないで生活していることです。保護観察終了となれば私の手から離れてそれぞれの地域で暮らし、数年後、往来で顔を見かけると「おばさん」と声をかけてくれる、近況報告をしてくれる、そんな良い顔を見ると嬉しく思います。

(質問4)地域の皆さんにお伝えしたいこと、お願いしたいことはありますか。

(答え)いろいろな事情で罪を犯してしまった人達ですが、一生懸命罪を償って社会復帰されたときには温かく見守って頂きたいと思います。

(質問5)吉岡さんの経歴について(簡単に)

(答え)市外から転入して本所に住居を構えて約35年になります。

## 新人紹介コーナー「よろしく」「ようこそ」

今回ご紹介するご家族は昨年11月に転入されて私たちの仲間入りをされた「杵淵晴樹さん」ご一家です。ご一家は晴樹さんと奥様そして4歳と1歳の息子さんとの4人家族です。

(質)以前はどちらにお住まいでしたか？

(答)妻の実家が旧栃尾市にあって今の住宅が完成するまでそちらにおりました。二人とも長岡市川崎の



会社に勤めていて栃尾に移るまでは高見に住んでいました。

(質)本所に新築された理由はなんですか？

(答)まず、見附市を選んだのは妻の実家と職場の間であることで旧長岡市よりも便がいいことでした。さらに本所を選択した理由はハウスメーカーさんの勧めでここを見せてもらったら保育園、医療機関、スーパーなどが近くにある生活するに便利だからでした。

(質)実際に住まれてみて感想はいかがですか？

(答)住んで半年程度ですが本当に期待したとおりです。更にご近所の方々からも温かく接して貰っていて有り難いですね。

(質)地域活動などへの参加のお考えはありますか？

(答)未だ具体的にどのようなものがあるか分かりませんが、子供が二人いますので子供を中心にしたような行事があれば参加させてもらいたいと考えています。

**表紙写真** 6区のY・Sさん宅のハンギングバスケットに植えられた夏の花々です。

毎年綺麗な花で飾られていて散歩の途中に目を楽しませて頂いておりました。今年も綺麗に咲き揃った時を目がけて撮影させてもらいました。話を伺うとサフィニアなどは冬越しをして挿し芽をされているそうですが失敗もあるそうです。

ゼラニウムは5年以上冬越ししていて、伸びすぎたものは挿し木で更新して形を整えるとのことでした。

## 編集後記

「本所今昔物語」は古い情報が集まらず苦勞の連続です。昭和42年の住居表示に関して市役所を訪問しましたが余り情報は得られず、仕方が無いので当時の電話帳からと思い国立国会図書館HPへ。保存されていましたが東京まで行くわけにも行かずHPの片隅に新潟県立図書館に保存という記述を見つけた。

県立図書館の担当者へメールで事情を説明すると、3日後に返信があつて「当時見附市が行った住居表示に関する告示が県報に掲載されていて資料がコピーできます。」と、親切な県の担当者のお陰で皆さんに記事をお届けできました。

## 発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」

担当 野水英男 TEL62-1542